



下妻特別支援学校 交流だより

令和3年度版



『交流及び共同学習』とは、誰もが互いに人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指すために、障害の有無に関わらず、児童生徒あるいは地域社会の人たちが触れ合い、ともに活動する機会を設けることを目的としたものです。

今年度は、新型コロナウイルスの感染状況によって、間接交流または直接交流を行うことで継続的な交流ができるよう進めてきました。児童生徒一人ひとりが主体的に活動に参加し、地域社会の人たちと交流することができました。

令和4年2月9日

上妻小学校との学校間交流

本校小学部3年生と上妻小学校3年生で、これまでに3回のオンライン交流を行いました。

第1回目は『お互いの学校のことを知ろう』をテーマに自己紹介や学校紹介、質問等を行いました。

第2回目は『学習の成果を発表しよう』をテーマに、上妻小3年生は国語の音読や運動会で踊ったダンスの披露等を、本校3年生は図工の作品紹介や音楽で取り組んだ身体表現『茶つみ』を発表しました。

第3回目は、本校アップルグループの児童が、国語の授業に参加し『漢字の意味』について学びました。回を重ねるごとに緊張もほぐれ、お互い良い表情で交流する姿が見られました。

2学期終業式にはメッセージカードや折り紙のサンタさんやトナカイ等、お友だち一人ひとりが作ってくれたかわいいプレゼントが届きました。3月には4回目の交流があります。最後の交流で寂しい気持ちもありますが、楽しい思い出が作れるといいですね。



下妻第二高等学校との学校間交流

12月16日(木)、下妻第二高等学校 JRC 部 14 名を本校に招いて、本校高等部生 32 名が直接交流を行いました。『スポーツを通して交流しよう』というテーマで、競技ボッチャとレクリエーションボッチャを行いました。今年は東京パラリンピックの年で、テレビで公式ボッチャの観戦をしていた生徒もいたので、興味関心と競技イメージをもってゲームに取り組むことができました。交互にボールを投げる中で、補助具を準備したり、声援を送ったり、ゲームの作戦を考えたりと、積極的にコミュニケーションを取る姿が見られました。



障害者スポーツを通じたアスリートとの交流

12月7日（火）と1月13日（木）、車いすラグビー元日本代表選手の三阪洋行氏を招いて直接交流を行いました。

第1回目は、中学部と高等部のⅠ・Ⅱ課程生徒13名が参加して講演を聞きました。『挑戦することの大切さ』をテーマに、三阪氏の自己紹介やこれまでの選手生活、今行っている活動など挑戦することの大切さが感じ取れるお話をたくさん聞くことができました。感動した生徒達からは、いろいろな質問が出されました。

第2回目は、高等部Ⅰ・Ⅱ課程生徒7名が参加して、車いすラグビー体験、シュート体験、eスポーツ体験を行いました。実際に、パラリンピックのラグビー競技で使用する車いすに乗り、三阪氏からタックルを受ける体験をさせてもらいました。あまりにも大きな音と衝撃に、びっくりした生徒もいましたが、楽しい体験だったという感想が多く出ました。



地域交流・花いっぱい活動

6月と10月に実施しました。6月は、コロナの影響で間接交流を行いました。下妻市青年会議所、グループホームえがおの皆さんからメッセージ動画をいただきました。児童生徒たちは、皆さんからのメッセージにパワーをもらって一生懸命に花を植えました。

10月は、コロナも落ち着いたので人数を制限して交流団体の方々と、1年半ぶりに直接交流を行うことができました。花植え活動は、感染予防のためフェースシールド、手袋をつけて行いました。「どの色にしようかな」と相談しながら楽しく花植えをすることができました。

プランターは児童生徒たちから街の人たちへの応援メッセージを添えて下妻市役所や郵便局、道の駅など、公共の施設に設置しました。来年度もまた、一緒に活動できるといいですね。



地域交流・寄宿舍交流

1回目の交流は10月に行い、ステンシルで花火の絵手紙を作り、2回目は12月に卓上門松を作り、半谷地区長さんともみの木保育園副園長さんに手紙を添えて送りました。

交流した地域の方からは、「花火の絵が素晴らしい」「玄関に飾り、園内が明るくなった」「良い年が迎えられる」との感想をいただきました。

